

# 第31回 岡山Vascular Biology研究会

日時：平成24年9月5日（水） 18:00～

場所：基礎医学棟2階 大学院第一講義室

《製品紹介》（18:00～18:10）アステラス製薬株式会社

【一般演題】（18:10～18:40）

座長：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学  
教授 榎野 博史 先生

1. 『新しい疾患概念Post aneurysmal coiling syndrome (PACS) の提唱』  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 大熊 佑 先生
2. 『ADAMTS1は血管内皮細胞にアポトーシスをもたらし、  
腫瘍の成長を阻害する』  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 分子医化学 廣畑 聡 先生

【特別講演】（18:40～19:40）

座長：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科 教授 伊達 勲 先生

## 『脳血管攣縮の病態における 炎症性血管応答の役割』

国立循環器病研究センター 神経・脳外科研究室  
室長 柳本 広二 先生

【抄録】

クモ膜下出血(SAH)後に生じる脳血管攣縮の原因物質は未だに不明である。マクロファージや血管内皮が分泌する血小板由来成長因子(Platelet-Derived Growth Factor-BB, PDGF-BB)は、 $\beta$ 受容体を介して血管平滑筋細胞の分裂、遊走を惹起し、新生内膜(肥厚性動脈硬化病巣)の形成とその増大に深く関与している。脳血管攣縮の発生過程における同因子の役割を動脈硬化性病態や炎症・修復機構の観点から考察する。

この研究会は、博士課程授業科目の「研究方法論（基礎・応用）の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。出席記録簿を持参して、開催担当教授の印を受けて下さい。職員・大学院生・学生、興味のある方はどなたでもご参加下さい。研究会に関するお問い合わせは岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 菱川（内線7336）までお願い致します。

\*なお、当日は軽食をご用意しております

共催 岡山Vascular Biology研究会 アステラス製薬株式会社

# 基礎医学棟 案内図

